



2006年 アメリカ研修を終えて

柔道整復学科教員 伊黒浩二

柔道整復学科アドバンスコース2年生のアメリカ研修が6月18日から30日まで、約2週間の日程で実施されました。研修は前回と同様、オレゴン州アシュランドにある南オレゴン大学でアスレティックトレーナー、マイク・ステーパーソン先生の指導で行われました。

広大な自然に囲まれた緑豊かな美しい街並み、澄みきった青空、眩しい日差しと爽やかな風。そんな恵まれた環境の中でトレーナーに関する講義や実技を中心に、CPR、AEDなどの応急処置、解剖学や医療施設見学など幅広く学びました。

マイク先生の講義はトレーナーとしての基礎的な話の中に、スポーツ現場での実践的な話を織り交ぜたととても興味深い内容で、時折出てくるジョークも効いて、真剣な雰囲気の中にも楽しさがある講義で、学生も自然と引き込まれているようでした。また学生達も積極的に



研修に取り組み、マイク先生の教えを次々に吸収していきました。

課外活動では体育館でのバスケ、バレー、ドッジボール。プールでは水球を楽しむなど、クラスの親睦も深まりました。私達教員も一緒に楽しませてもらい、私服のままプールに落とされたりするなど、学生との距離も随分近づいたように感じます。

休日に訪れたクレーターレイク国立公園の壮大な景色。夕暮れ時に学校裏の芝生の丘を滑って遊んだこと。すべてが日本では経験できない思い出深い出来事でした。

最終日には感謝の思いを込めて、学生主体でサンクスパーティーを



催しました。ここでも学生は積極的で、リーダーを中心によくまとまり、良く考え、日本の文化を伝えたいという思いから全員が浴衣に着替えて盆踊りをし、また空手の演舞を披露するなど、マイク先生やその他のお世話になった方々に楽しんでいただきました。そして最後には修了証を一人ひとりに手渡ししていただき、こちらからは感謝の思いを込めて「上を向いて歩こう」を全員で歌い、研修をやり遂げた感動の中、大過なく終了しました。

今回で3回目となる研修は私にとっても3回目の引率となりました。研修は回を重ねるごとに充実したものになり、今年もまた私達にたくさんの感動を与えてくれました。

最後になりましたが、最良の研修が無事に終了できたことをマイク先生、南オレゴン大学の方々、そして常に前向きな姿勢で研修に取り組んでくれた学生の皆に感謝します。

第6回中国臨床研修ツアー体験記

鍼灸学科 31期昼間部 武安杏子



今年で6回目を数える夏休み恒例の中国臨床研修ツアーが8月18日(金)から25日(金)の8日間、南京中医薬大学にて行われました。折しも直前の15日、つまり終戦記念日に小泉首相(当時)が靖国神社に参拝し、また南京という先の大戦において象徴的な事件のあった場所を訪れるということで、出国前はみな大なり小なり不安を感じていたようです。しかし現地では大学の内外を問わず友好的な方がほとんどで、少なくとも表面的には日本人であることにより不快な思いをすることはなく、杞憂であったことを嬉しく思っています。

さて今回は参加人数が例年を大きく上回る20名という「大所帯」。特に昨年から卒業生も参加可能になり、今回は私も含め6名の有資格者が在校生とともに研修を受けました。臨床実習では4組のグループに分かれて3カ所の付属病院を順に回り、鍼灸科、推拿科、脳卒中病棟および手術室を見学しました。また全体での講義は3コマあり、その内容は鍼の補瀉法や特殊鍼法(三稜鍼、舌鍼、火鍼)、気功、中医美容、臨床経験に基づいた弁証論治とバラエティーに富んだもので、参加者全員が大いに刺激を受けた様子でした。

私にとって本校の中国研修は一昨年、昨年に続き今回で3度目となりました。毎回、日本では経験できない多くのことを見聞し、実際に体験することにより、視野が広がるだけでなく、日常の治療でもたいへん役立っているという実感をますます強くしています。

柔道着に学園ロゴマークを刺繍

学園を代表して各種柔道大会に参加する学生たちが着用する柔道着に、学園のロゴマークが刺繍されました。

学園カラーであるグリーンのきれいなグラデーションで表現されたロゴが胸元にきらめいて、実力も発揮できそう!

